

# 【広島市消費者物価指数】

## 1 平成24年7月の動向

- 広島市総合指数（99.6）は前月比で4か月連続の下落。前年同月比は2か月連続の下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.8）は前月比で同水準。前年同月比は3か月連続の下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（99.0）は前月比で3か月連続の下落。前年同月比は11か月連続の下落。

## 2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.6	▲0.1	▲0.8
生鮮食品を除く総合指数	99.8	0.0	▲0.4
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	99.0	▲0.1	▲0.5

## 3 前月からの動き

～教養娯楽は上昇、被服及び履物は下落。～

### (1) 10大費目の動き

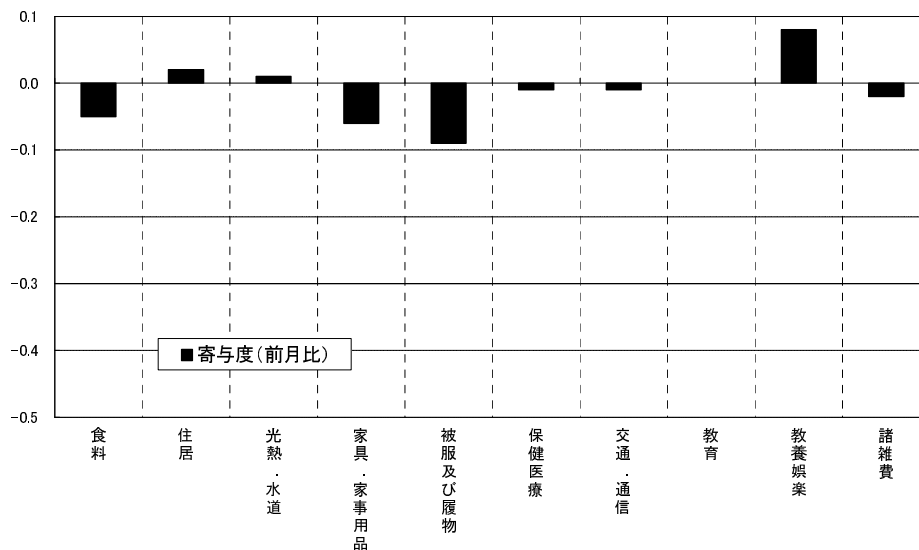
	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.6	98.7	99.3	106.0	97.0	99.9	99.2	100.4	98.4	96.6	102.7
前月比 (%)	▲ 0.1	▲ 0.2	0.1	0.1	▲ 1.4	▲ 2.0	▲ 0.2	0.0	0.0	0.7	▲ 0.3
寄与度	▲ 0.1	▲ 0.05	0.02	0.01	▲ 0.06	▲ 0.09	▲ 0.01	▲ 0.01	0.00	0.08	▲ 0.02

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

教 養 娯 楽：教養娯楽サービス（前月比 1.4%，寄与度 0.09）等

被服及び履物：シャツ・セーター類（前月比 ▲4.1%，寄与度 ▲0.04）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	1.4%	果物 (さくらんぼ 等)	▲5.9%
交通 (鉄道運賃 [JR] 等)	1.4%	野菜・海藻 (トマト 等)	▲1.5%
電気代 (電気代 等)	0.7%	シャツ・セーター類 (婦人Tシャツ [半袖] 等)	▲4.1%
設備・修繕維持 (ルームエアコン取付け料 等)	0.8%	洋服 (女兒スカート 等)	▲1.9%
調理食品 (焼き魚 等)	0.7%	家庭用耐久財 (電気冷蔵庫 等)	▲2.1%

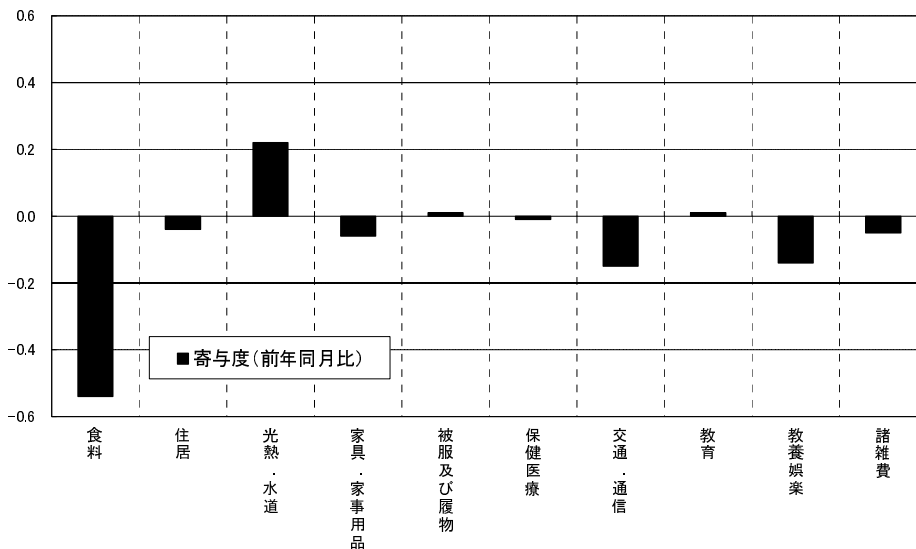
4 前年同月からの動き  
～光熱・水道が上昇し、食料が下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲ 0.8	▲ 2.1	▲ 0.2	2.8	▲ 1.6	0.3	▲ 0.3	▲ 1.1	0.2	▲ 1.2	▲ 0.8
寄与度	▲ 0.8	▲ 0.54	▲ 0.04	0.22	▲ 0.06	0.01	▲ 0.01	▲ 0.15	0.01	▲ 0.14	▲ 0.05

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目  
 光熱・水道：電 気 代 (前年同月比 4.3%, 寄与度 0.15) 等  
 食 料：野菜・海藻 (前年同月比 ▲8.0%, 寄与度 ▲0.22) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
電気代 (電気代 等)	4.3%	野菜・海藻 (トマト 等)	▲8.0%
ガス代 (都市ガス代 等)	3.6%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲1.0%
設備・修繕維持 (ルームエアコン取付け料 等)	1.6%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.5%
穀類 (うるち米 等)	1.2%	肉類 (牛肉 [国産品] 等)	▲3.4%
洋服 (背広服 [夏物, 中級品] 等)	1.5%	教養娯楽サービス (ゴルフプレー料金 等)	▲1.4%